

地方創生推進交付金・地方創生拠点整備交付金 事業検証資料

(地方創生推進交付金)

- ・平成30年度～令和2年度 事業

企業振興条例に基づく「広陵町産業総合振興機構」設立による各産業分野の雇用創出事業

P 1～P 2

- ・令和2年度～令和4年度 事業

ビジネスサポートセンター創設による「地域活性化」推進計画

P 3～P 5

(地方創生拠点整備交付金)

- ・令和元年度補正 事業

はしお元気村地域マルシェ整備事業

P 6～P 7

令和3年11月
広 陵 町

地方創生推進交付金事業評価シート（平成30年度採択事業）

1 基本事項

事業名	企業振興条例に基づく「広陵町産業総合振興機構」設立による各産業分野の雇用創出事業									
地方創生 総合戦略	基本目標P12〈基本目標3〉活力あふれるまちづくり (1) 活力あふれる産業づくり全般									
事業内容・実績										
<p>当該機構は「町をまるごと商品化」をコンセプトに、すべての産業の課題解決のための事業を展開するとともに、自らに商社的機能を持たせ、自立することを目指す。</p> <p><令和2年度実施した具体的事業></p> <p>令和2年3月に当該機構は設立し、地域産業の育成や農業振興、観光振興を図るため様々な事業（ECサイトや実店舗、イベント等における地場製品の販売や町内で生産された農産物の販売先確保など）を実施したことから、町から機構に事業実績に基づき補助金を交付した。</p> <p>また、当該機構における事業収支や実施事業の内容を検証し、令和3年度以降の自立に向けた見直しを図るため、一般財団法人南都総合研究所に事業検証のコンサルティング業務を委託した。</p> <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広陵町産業総合振興機構」 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事業実施検証支援コンサル 委託料</td> <td style="text-align: right;">3,080,000 円</td> </tr> <tr> <td>・広陵町産業総合振興機構 補助金</td> <td style="text-align: right;">10,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td style="text-align: right;">13,080,000 円</td> </tr> </table>					事業実施検証支援コンサル 委託料	3,080,000 円	・広陵町産業総合振興機構 補助金	10,000,000 円	(合計)	13,080,000 円
事業実施検証支援コンサル 委託料	3,080,000 円									
・広陵町産業総合振興機構 補助金	10,000,000 円									
(合計)	13,080,000 円									
事業費 (単位：千円)		H30	R1	R2						
	事業費(収入額)	5,413	12,102	13,080						
	財 源 内 訳	国補助	2,707	6,051	6,540					
		県補助								
		使用料								
一般財源		2,706	6,051	6,540						

2 重要業績評価指標（KPI）

指標名	指標値（目標値）	R2実績値
機構にて創出した産業連携コンテンツの売り上げ	500千円	1,335千円
当町への訪問者数の増加 （馬見丘陵公園・竹取公園周辺のRESAS人口流動メッシュ分析合計ベース（ピーク月））	2,000人	0人（増加せず）
機構が設置するWEBサイト年間アクセス数	300回	0
事業の課題	目標値の3については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う支援事業を当該機構が受託したことにより、WEBサイトの立ち上げは令和3年3月末となったことから、目標値を達成していない。	

3 項目別評価

評価項目	項目別	総合	評価説明
目指すべき将来像及び課題の設定 KPI 設定の適切性	B	A	当機構が設立されたことにより、産業・農業・観光の支援を迅速に行うこと、地域課題の解決や新型コロナウイルス対策をより効果的なものとすることができた。 また、ふるさと納税における返礼品管理等で培ったノウハウを活かした地場産品、農産物の販売や販路開拓、協定を締結する市町村との連携により、官民協働や地域間連携につながる事業が実施された。
自立性	B		
官民協働	A		
政策間連携	A		
地域間連携	A		

4 今後の事業の方向性

今後の方向	事業の方向性に関する考え	
拡充（増）		令和2年度にて、地方創生推進交付金の計画期間は終了となることから、今後は当該機構が自立した運営を行っていく。 このため、地域課題の解決等において連携が必要となる事業や取組については、他の民間企業と同様に業務委託等を行った上で、当該機構と適宜実施していく。
継続 （現行のまま継続）		
継続 （事業改善して継続）	○	
縮小（減）		
廃止		

部	事業部	課	地域振興課
---	-----	---	-------

地方創生推進交付金事業評価シート（令和2年度採択事業）

1 基本事項

事業名	ビジネスサポートセンター創設による「地域活性化」推進計画														
地方創生 総合戦略	基本目標P12〈基本目標3〉活力あふれるまちづくり (1) 活力あふれる産業づくり全般														
事業内容・実績															
<p>地域産業の活性化を図るため、町内の中小企業・小規模企業の多くが課題として抱える販路開拓や情報発信などについて、幅広いスキルを有した人材による伴走型支援を実施するビジネスサポートセンターの設立を行うとともに、当センターと連携した支援事業を実施する。</p> <p><令和2年度実施した具体的事業></p> <p>令和2年5月上旬より、ビジネスサポートセンターのセンター長となる人材を確保するため、新聞や民間求人サイトを活用した募集を開始し、6月から8月中旬にかけて書類選考及び面接を経た後、8月下旬に現在のセンター長を選定した。</p> <p>その後、令和2年10月よりセンター長は2ヶ月間の研修期間を経た後、町内事業者への周知を図るため研修会及びオープニングシンポジウムを開催し、令和2年12月8日にビジネスサポートセンターを開設した。</p> <p>なお、当センターの運営やセンター長、事務局員の募集、研修、雇用及び研修会、オープニングシンポジウムの開催に関しては、一般社団法人広陵町産業総合振興機構に運営業務及び支援業務を委託の上、実施した。</p> <p>また、ビジネスサポートセンターを活用した町内企業の新商品開発を支援するため、試作品の製作に係る経費を対象とした補助金事業や農業分野における人材育成を図るため、「農業塾」を昨年度に引き続き開講した。</p> <p>○実績</p> <table border="0"> <tr> <td>・ビジネスサポートセンター設立に係る支援 委託料</td> <td style="text-align: right;">2,060,122 円</td> </tr> <tr> <td>・事務局員採用に係る支援 委託料</td> <td style="text-align: right;">314,800 円</td> </tr> <tr> <td>・研修会開催に係る講師謝礼 報償費</td> <td style="text-align: right;">236,120 円</td> </tr> <tr> <td>・ビジネスサポートセンター運営業務 委託料</td> <td style="text-align: right;">6,463,800 円</td> </tr> <tr> <td>・試作品の製作に係る経費補助 補助金</td> <td style="text-align: right;">300,000 円</td> </tr> <tr> <td>・農業塾長給与 給料</td> <td style="text-align: right;">3,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td style="text-align: right;">12,374,842 円</td> </tr> </table>		・ビジネスサポートセンター設立に係る支援 委託料	2,060,122 円	・事務局員採用に係る支援 委託料	314,800 円	・研修会開催に係る講師謝礼 報償費	236,120 円	・ビジネスサポートセンター運営業務 委託料	6,463,800 円	・試作品の製作に係る経費補助 補助金	300,000 円	・農業塾長給与 給料	3,000,000 円	(合計)	12,374,842 円
・ビジネスサポートセンター設立に係る支援 委託料	2,060,122 円														
・事務局員採用に係る支援 委託料	314,800 円														
・研修会開催に係る講師謝礼 報償費	236,120 円														
・ビジネスサポートセンター運営業務 委託料	6,463,800 円														
・試作品の製作に係る経費補助 補助金	300,000 円														
・農業塾長給与 給料	3,000,000 円														
(合計)	12,374,842 円														

事業費 (単位：千円)			R 2	R 3 (予定)	R 4 (予定)
	事業費(収入額)		12,374	22,400	22,400
	財 源 内 訳	国補助	6,187	11,200	11,200
		県補助			
		使用料			
一般財源		6,187	11,200	11,200	

2 重要業績評価指標 (K P I)

指標名	指標値 (目標値)	R 2 実績値
支援による創業件数	1 件	4 件
支援による商品開発件数	1 件	14 件
支援による課題解決件数	3 件	27 件
ビジネスサポートセンターの相談件数	50 件	109 件
事業の課題	<p>令和 2 年 1 2 月の開設以降、相談件数については予約枠のほぼ全てが埋まる状況となっており、リピート率も約 7 割に達することから、相談者の満足度も高いと判断される。</p> <p>今後については、新規の相談者や創業に関する相談を増加させるため、更なる PR を推進するとともに、広陵町及び大和高田市以外の事業者が相談可能となるよう、近隣市町に費用負担を求める取組を実施する。</p>	

3 項目別評価

評価項目	項目別	総合	評価説明
目指すべき将来像及び 課題の設定 KPI 設定の適切性	A	A	<p>ビジネスサポートセンターが設立したことにより、これまで町内の小規模な事業者の大部分が抱える課題であった販路開拓や自社の情報発信に関して、最小限の経費で実践するための相談を無料で行うことが可能となった。</p> <p>また、本事業は大和高田市と協同で実施していることから、両市町の事業者が連携した商品の開発が期待される。</p>
自立性	B		
官民協働	B		
政策間連携	A		
地域間連携	A		

4 今後の事業の方向性

今後の方向		事業の方向性に関する考え
拡充（増）		<p>令和2年12月の開設以降、相談件数については順調に増加しており、現在では1ヶ月先まで予約に空きがない状況であることから、町内の事業者からニーズが高いと思われる。</p> <p>今後は、ITに関連する相談について、より専門的な知識が必要となることが想定されるため、専門家による相談機会を設けることで、様々な相談内容に対応できる体制を整備していく。</p> <p>また、ビジネスサポートセンターと連携した支援事業については、事業者の売上向上につながる新規性や独創性の高い商品開発を支援する補助金等の制度づくりを検討する。</p>
継続 (現行のまま継続)	○	
継続 (事業改善して継続)		
縮小（減）		
廃止		

部	事業部	課	地域振興課
---	-----	---	-------

地方創生推進交付金事業評価シート（令和元年度補正採択事業（事業は令和2年度に実施））

1 基本事項

事業名	はしお元気村地域マルシェ整備事業			
地方創生 総合戦略	基本目標P12〈基本目標3〉活力あふれるまちづくり (1) 活力あふれる産業づくり全般			
事業内容・実績				
<p>これまでの朝市は屋外であったことから販売環境が安定せず、強風や大雨の際には、販売を中止せざるをえなかった。そこで、既存の朝市を発展させるとともに、これまでの販売品に加え、休耕地活用をメインに活動している民間団体である「健楽（けんぎょう）農業」と連携し、通年を通して商品を提供できる施設を整備した。加えて、外部テラス席（オープンスペース）などを整備した。</p> <p>農産品に加え、町の特産品（靴下など）や子どもが集うような駄菓子など全般を扱う予定であり、農業に限らず全ての産業の底上げが期待される。また、あらゆる世代が訪れる地元密着型店舗として、地域コミュニティの拠点としても位置付けている。</p> <p>マルシェの販売主体は、はしお元気村の指定管理者である「広陵いきいきプロジェクト」が担っている。</p> <p>○実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はしお元気村地域マルシェ整備工事費 19,972,700 円（拠点整備交付金分） <li style="padding-left: 150px;">386,100 円（推進交付金分） （合計） 20,358,800 円 				
事業費 (単位：千円)			R 1（補正）	/
	事業費(収入額)		20,359	※単年度事業
	財 源 内 訳	国補助	10,179	
		県補助		
		使用料		
一般財源		10,180		

2 重要業績評価指標（KPI）

指標名	指標値（目標値）	R2実績値
はしお元気村マルシェ（朝市）の売り上げ	9,317千円	—
はしお元気村マルシェ（朝市）の来店客数	11,298人	—
事業の課題	マルシェのグランドオープンが令和3年4月9日であったため、令和2年度中の実績がない。	

3 項目別評価

評価項目	項目別	総合	評価説明
目指すべき将来像及び課題の設定 KPI 設定の適切性	B	B	はしお元気村は、福祉及び健康増進の拠点及び北かぐやこども園が隣接しており、地域のあらゆる世代が集まっている。そのため、地域コミュニティの拠点及び地場産品の販売の場として、整備しており、販売額が増加していくことで、今後はまちの新たな魅力を創出できると考える。
自立性	B		
官民協働	A		
政策間連携	B		
地域間連携	A		

4 今後の事業の方向性

今後の方向	事業の方向性に関する考え	
拡充（増）		整備事業は単年度で終了だが、今後は、店舗の売り上げ及び店舗への来店客数の実績を分析し、地域コミュニティの拠点となるような販売店舗になるよう事業者とともに検討する。
継続 （現行のまま継続）		
継続 （事業改善して継続）	○	
縮小（減）		
廃止		

部	企画部 事業部	課	企画政策課 地域振興課
---	------------	---	----------------